

三重県

三重県退職校長会

設立 昭和34年 7月26日

1. 出発と歩み

昭和34年7月26日、42名の会員でスタートした本会は、時代の動きや会員数の増加に対応して、組織や活動内容に若干の修正を加えつつ着実に前進してきた。

全連退設立に際しては準備委員会から関わり、当初から会員の総意で加盟をしている。

会員数は、昭和57年には1,000名を越え、現在では2,000名余の会員で構成されている。

2. 現状

総会を年1回開催、それに向けての役員会を年3回、21支部の理事で構成する理事会を年2回開催している。総会では事業報告、会計監査報告、講演会を開催、昼食をとりながらの懇親会も参加者の楽しみの一つとなっている。また年一度刊行されるのが「いきがい」と名付けられた文集である。一人当たり300字足らずと字数は少ないが、会員相互の親睦を深める機会となっている。(平成26年度32号を刊行)

しかし、数年前から組織の肥大化や活動内容のマンネリ化は、会員の所属意識の低下を招き、何のために誰のために退職校長会は存在するのか、どういう組織であるべきかの振り返りが必要とされた。

3. 改善の動き（平成23年以降）

- ・組織の目的を、親睦や福利厚生から「教育振興」に軸足を移す。
- ・退職校長会は、「子どもを守り学校を応援する」組織であることを示し、支援活動のネットワーク化を図る。
- ・最近の教育課題を学び、学校現場の様々な課題にも乞われれば一役を担う意思を示す。そのために県教委との懇談会を開催、また、現職校長会との交流の機会を持つ。
- ・総会開催地を津市だけでなく、隔年で地域でも開催し、会員により身近な存在とする。
- ・「教育の日」設定運動を、県のみならず各市町のエデュケーション委員会対象に積極的に展開する。PTA連絡協議会、現職小中校長会、高校校長会、幼稚園協会、教職員組合などの関係諸団体に退職校長会の基本姿勢の理解を求めると共に、「教育の日」制定運動への協力支援を要請する。
- ・21の支部の中で組織や活動が十分でない所がある。支部間の情報交流を活発にし、改善の手掛かりとする機会をつくる。

4. 未来への展望

- ・会費納入システムの抜本的改革
- ・「三重県退職校長会たより」の刊行

